INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION OF KISHIWADA 2021.7.15.

にゅ～とぴあ岸和田

岸和田市国際親善協会だより

ifa-きしわだ

No.128

無料配布中

「にゅ～とぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にした親善・交流を通してお互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。

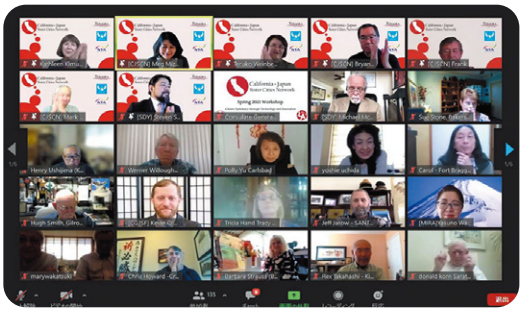
Since 1989

ifa-きしわだ
岸和田市国際親善協会

ifa-kishiwada.rinku.org

2021 カリフォルニア ～日本姉妹都市ネットワーク・春のワークショップへ 岸和田市国際親善協会が招待されました

去る５月14日（金）16:30-18:30（太平洋夏時間）に開催された「2021 カリフォルニア～日本姉妹都市ネットワーク・春のワークショップズーム会議」に当協会が招待されました。ホスト側はサンフランシスコ市とロスアンジェルス市の日本総領事、カリフォルニア～日本姉妹都市ネットワーク（CJSCN）及び岸和田市の姉妹都市であるサウスサンフランシスコ市（SSF）姉妹都市協会です。



出席者９４諸団体代表▲

▲CJSCN 役員（上右 Mr.McAuley）

CJSCN はカリフォルニア州と日本国の間に存在する100以上の姉妹都市関係に関する資源、情報、イベントのネットワークを提供することを目指しています。そして今回当協会は、岸和田市姉妹都市の利害関係者 (stakeholder) として招待されたものです。参加者合計は８１諸団体と１３共同ホストが出席しました。

COVID-19 は 2020 年の殆んどの姉妹都市の交流、イベント、及び他の活動の中止を引き起こし、対面交流が不可能な状態に一変してしまいました。このような状況を踏まえ、今回のテーマは「技術革新による市民外交」でパンデミックなコロナ禍下で如何に姉妹都市関係を構築していくかがメイントッピクスです。会議進行は全体会議と11の地域別姉妹都市分科会議に分かれ、当協会は Northern California,Peninsula 地域に属し、SSF 市との交流を発表する機会を与えられました。

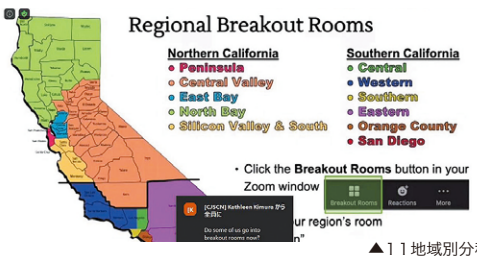
Dear Yukata Shioya,

The Consul General of Japan in San Francisco MAEDA Toru,
The Consul General of Japan in Los Angeles MUTO Akira
& the California-Japan Sister Cities Network

Cordially invite you to a virtual
California-Japan Sister Cities Spring Workshop

on Friday, May 14, 2021
from 4:30–6:30 p.m.
(Zoom room open at 4:00 p.m. for optional breakout rooms by region)

▲招待状



▲１１地域別分科会

横浜市による▲
日本語学習

本会議では日本総領事館と CJSCN からの歓迎の挨拶等々で始まり、特に注目されたのはサンディエゴ市～横浜市姉妹都市協会で昨年５月より進められている横浜市立金沢高校生と教育委員会を中心とした「オンライン姉妹都市交流を構築する方法」で、これは他の姉妹都市間にとっても非常に参考になったものと思われます。

Mr.McAuley との premeeting▲

緊急事態宣言下、コロナ禍まん延防止対策で多忙を極める岸和田市は、残念ながら今回のワークショップズーム会議に参加することはできませんでした。しかし岸和田市との事前協議を踏まえて、SSF 姉妹都市協会会長 Mr. Frank McAuley と私との間で、会議前の準備段階を含め、ZOOM,e-mail, 電話等を通して何度も話し合うことができたことは有意義なことで大変光栄に思っています。当面の実現可能な姉妹都市交流として、従来の延長線ではあるが、オンラインによる高校生間の文化や街づくりの紹介等々が考えられるというのが一致した見解です。さらに人的交流として、2022 年環境が好転されればSSF 一行がぜひ岸和田市を訪問したいとのことです。他の多くの自治体と同じように、実りある姉妹都市交流を実現するためには、当協会のみならず官民一体となった交流活動が必要であると考えます。

（塩屋　裕）

ifa-きしわだ

総会

ご挨拶

岸和田市長
永野　耕平

皆様、こんにちは。岸和田市長の永野耕平でございます。

皆様方には、平素より、本市のまちづくりに多大なご理解とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

貴協会は 1989 年に設立されてからこれまで、30 余年の長きにわたり国際交流の発展にご尽力賜っております。歴代役員の方々をはじめ会員各位のご努力に深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

日本語サロンの開催、祭礼時の外国人インフォメーションセンターの開設をはじめ、岸和田市の友好都市との交流事業の際にも積極的に活動いただいております。また、異文化に触れる市民へのサポート等、岸和田市の国際化にもご協力いただいております。

今年 1 月 26 日には、インターネットテレビ「岸和田 TV MODE ～ Vol.7 ～」に井上会長、塩屋副会長、東田副会長に出演いただき、協会の活動について紹介をしていただきました。3 人の熱心な活動紹介に、皆様の活躍が良くわかりました。「外国人のためのだんじりインフォメーションセンター」に訪れる外国人観光客様用のマップが 10 言語に対応していること、マダガスカルの東にあるレユニオン島から 55 時間かけて見物に来られたカップルがおられたこと、世界中の様々な国からのお客様のエピソードは特に印象に残りました。

現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。協会の事業も、会場や人数の都合で中止、延期するなど影響も大きいと思います。事態が収束する時には、以前の賑わいを期待していますので、その時に力を発揮していただけるように、ノウハウの蓄積と継承もよろしくお願いします。

結びに、今後とも国際交流を通じた地域社会の形成にご協力いただきますようお願い申し上げますとともに、岸和田市国際親善協会の益々の発展と、皆さま方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、私のあいさつとします。

ご挨拶　2020年度事業報告及び2021年度事業計画

会長　井上　實

新型コロナ感染症の拡大は続き、令和 3 年度も岸和田市国際親善協会の総会は書面議決の形で実施せざるをえなくなりました。感染は昨年当初から山と谷を繰り返し、衰えを見せていません。いつになったら普段通りの活動が可能になるのでしょうか。

多くの人がウイルスに感染するか免疫を持てば終息に向かうとされ、有効なワクチン接種が急がれています。ウイルスの集団免疫の獲得は、奈良時代の天然痘や 100 年前のスペイン風邪に見られるかと思われます。それらの終息には 3 年以上かかっています。

さて、本協会の創設当初から続く事業は ①機関誌の定期発行 ②日本語サロン ③だんじりインフォメーションセンターの開設 ④イングリッシュオープンカフェ、などです。

岸和田城赤色ライトアップ イメージ

今年度も新しい課題にも取り組みたいと思います。①日本語がわからない小中学校児童生徒への日本語指導補助員の派遣 ②日本語を理解しにくい外国人などに対してやさしい（優しく&容易な）日本語の普及などです。

昨年 2 月放送の TV ドラマ「となりのマサラ」(NHK 福岡)。ネパール人技能実習生の集住地区での地域住民とのトラブル発生。地域住民は国へ帰れ！と言い、実習生は「日本人はずるい、利用するだけ利用して、私たちは一緒にやっていきたいのに！」と言う。管理団体職員は彼らと日本人はウイン・ウインの関係、日本語も学べて、国の家族に仕送りもできる。三者間を取り持つボランティア（団体）は複合の美味い香辛料『マサラ』。

最後になりますが、岸和田市は令和 4 年に市制施行 100 周年を迎えます。本協会としても、記念事業に参加するなど、ともにお祝いしたいと思います。

《2021年度総会開催中止に伴う書面議決について》

新型コロナウイルスの動向を見守りながら総会実施に向けて準備をすすめて参りましたが、4月25日大阪府に「緊急事態宣言」が発令されましたので、感染拡大防止のため、総会の開催は中止の止むなきに至りました。本来なら総会を開催して、皆様の承認を得るところではございますが、会則第10条（総会）と第17条（委任）の規定により、総会を書面議決とさせていただきました。

議案の可決につきましては、各位へ郵送しました議案書に対する回答書の集計結果に基づき、ご承認をいただきました。なお、3月25日開催の理事会で2020年度事業報告・決算の審議、2021年度事業計画（案）の審議を行い、承認をいただき、そして4月8日会計監査を受け、適正に処理されていると認められましたことを申し添えます。　（広報部会）

ifa-きしわだ

総会

新任部会長抱負挨拶

●事業部会長 柿花 稲美 さん

この度、事業部会長の職をお引き受けすることになりました。入会して 3 年余り、その間いろいろな活動に楽しく参加させて頂いています。とはいえ、経験浅く分からない事も多いまま、周りにはベテランの皆さまがいてくださるのだから、真摯に向き合えば何とかなるだろう…のスタンスでお引き受けした次第です。

現在、32 年前の協会発足時とは比べものにならない程、在住外国人は多数にそして多国籍に及び、とても身近な存在になっています。ただ物理的には身近でも、交流となるとなかなか難しいのが現状です。そんな彼らと市民をつなげ、新たな交流を生み出す行事を展開していくことが事業部の目指すところであると考えています。そしてそこから生まれたつながりが日頃からのお付き合いに発展し、さらには災害など緊急時の助け合いにもつながれば、外国の方々にとってより住みやすい社会になると思います。そんな地域コミュニティーづくりに貢献できる取り組みを考えていく所存です。

そうは言いましてもこのコロナ禍の中、当協会の特色ある多くの事業は中止や規模縮小をせざるを得ない状況で、思うような取り組みはできていません。これからもいろいろな制約があるとは思いますが、皆さま方のお知恵をお借りしながらできる事、できる方法を考えて少しずつ活動を進めて参ります。これからもご協力、ご参加よろしくお願い致します。

●広報部会長　内田　滿弥 さん

2021 年度から、広報部会長を務めさせていただくことになりました、内田滿弥です。

私が生まれ育った町「岸和田」、だんじりと岸和田城の町が、関西国際空港の開港以来、「世界に一番近い城下町」として日本のみならず、世界に注目されてきました。

現在は大勢の外国の方が岸和田祭りの時だけでなく岸和田を訪れ、また岸和田に住んで生活をしている方も増えています。また、外国の方々と交流を持つ岸和田の人々も大勢おられます。それらの方々の国際親善に少しでも役だつように広報部では広報機関紙「にゅ～とぴあ岸和田」を発行しています。岸和田市国際親善協会の諸先輩方のご尽力により、1989 年の創刊号発行から年 4 回、一度も欠かすことなく発行されています。この「にゅ～とぴあ岸和田」の発行をはじめ、だんじり祭りに岸和田を訪れる外国の方に「だんじりインフォメーションセンター」の開設等の活動を行っています。

岸和田がますますグローバル化される中、広報部 (Public Relations) とその名が示す如く、決して一方通行にならないように、読者の方の心をつかむ記事を心掛け、相互にコミュニケーションを取れるような仕組みを創り、「未来に向かって世界の架け橋」とのお手伝いができるような活動を進めてまいります。この記事を読まれた方からご意見をお寄せくださるようお願いいたします。

●日本語サロン部会長 緒方 理世 さん

本来は総会にて直接お目にかかってご挨拶をさせていただくところでしたが、緊急事態宣言発令中ということでこの文面にてご挨拶を申し上げます。日本語サロン部会は、基本的に毎月第１木曜日に会議を開催しております。各サロンの代表者よりそれぞれのサロンにおける現状をお聞きし、お互いに意見を出し合いながら日本語サロンの運営に取り組んでおります。市内５か所にて週1回の学習だけでなく、地球どんぶりでの交流や各サロンでの催しなど、これまでも楽しく学習を続けてまいりました。しかし、昨年よりコロナ禍の中で今までのような活動を続けるのがなかなか厳しい状況にあります。今年度も副部会長の小島さんをはじめ、各サロンの代表の方々と協力し合いながら、この状況下でどのように活動していけるかを一緒に考えながら進めてまいります。

また今年度は昨年度より延期となっておりました、第１５期日本語ボランティア養成講座（初級）が開講される予定です。今回も多くの方々にお申し込みをいただいており、コロナ禍のなかでも日本語学習支援活動に高く関心を寄せていただいていることに感謝しております。多くの学習者の方々、そして熱心に日本語学習支援を続けて下さるボランティアの方々とともに、一日も早く和気藹々とした楽しい日本語学習の機会が戻ってくることを心より願っております。

新年度役員名簿

岸和田市国際親善協会

（2021年度～22年度）役員

役職名	氏　名
会　長	井上 實　（兼事業副部会長）
副会長	塩屋 裕　（兼広報副部会長）
	東田 和代
事務局長	西村 令子
会　計	藤平 敬子
理　事	井手 勲
	内田 満弥（広報部会長）
	内田 喜江
	緒方 理世（日本語サロン部会長）
	大塚 洋
	柿花 稲美　（事業部会長）
	栗尾 宣子
	小島 祥子
	佐竹 和義
	澤田 直子
	渋谷 幸子
	樽谷 弘子
	辻ノ 賢美
	中村 恵子
	西村 紀子　（事務局員）
	服部 圭子
	松本 光雄
	三森 すみ代
	村木 靖子
	米川 典子
	岸和田市医師会
	岸和田市薬剤師会
	岸和田市スポーツ協会
	岸和田市町会連合会
	岸和田市日本大韓民国親善協会
	岸和田市日本中国友好協会
	岸和田市文化協会
	岸和田市立産業高等学校
	岸和田市立小学校校長会
	岸和田市立中学校校長会
	岸和田商工会議所
	岸和田青年会議所
	岸和田文化事業協会
	岸和田中央ライオンズクラブ
	岸和田東ロータリークラブ
	国際ソロプチミスト岸和田
	トーヨートラベル株式会社
	ヒッポファミリークラブ
顧　問	永野 耕平 岸和田市長
	河合 馨　岸和田市議会議長
	信貴 信千代 元会長
	桐原 喜彦 前会長
監　事	榎本 陞也
	中塚 鞠子

広報部会この10年の変革

にゅ～とぴあ88号 (2011.7.15) ～127号 (2021.4.15)

広報部会は新年度4月より、10年務めた前部会長から新部会長に引き継がれ、新たなる広報活動のスタートを切りました。この10年を振り返れば様々な出来事がありました。特に未だ収束の目処が立たない新型コロナウィルス感染症の影響で殆んどの国際交流行事が中止となり、機関誌「にゅ～とぴあ」も休刊の危機に直面しましたが、部会員の努力と関係者一同のご協力によりこの窮地を乗り越えられるものと確信しています。この10年間の変革を振り返ってみましょう。

《「にゅ～とぴあ」の改革》

◇広報部会の憲法と言うべき「内規」と「編集綱紀」の標準規定の制定。
◇各号の編集内容を明確に文書化。
◇106号から全面カラー化へ実現。
◇6頁から8頁へ拡大。(コストアップなし)
◇編集スケジュールの確立により、編集作業の迅速化と簡素化を図る。
◇各掲載トピックス毎に原稿管理者を設定し、編集作業の分散化を図る。

《新シリーズ》

◇EOC の定期掲載
◇EL MUNDO
◇クラブ紹介
◇日本語サロンだより
◇突撃インタビュー /You は何しに岸和田へ?
◇国際交流
◇私と外国語
◇日本語指導補助員

◇世界からの新型コロナウィルス感染症情報
◇だんじりインフォメーションセンター・一言コメント

《広報事業》

◇外国人市民と地域社会住民のための防災訓練 / 中央公園にて (107号)
◇英語版・外国人市民のための防災ハンドブックの作成 (平易な文章は市内中学校でテキストとして活用されている)
◇だんじりマップを改訂すると共に10言語版に増版。
◇設立30周年記念誌の発行。(10, 20周年記念誌とは全く違った観点から編集)

今後とも新部会長のもとに部会員一丸となって「ifa-きしわだ」のメディア窓口として更なる広報活動にまい進して参る所存です。 (広報部会)

国際交流の中で不可欠なのは外国語です。しかし、日本語は他の外国語と比べて、文字も文法も全く違う言語です。これが私たち日本人にとって外国語を学ぶ上で大きなハンディキャップとなっています。また古来から海に囲まれ外国文化に接する機会が少なかったことから、無意識のうちに外国語にコンプレックスを持つようになり、苦手意識を持つのは当然です。

このような背景のなかで、皆さんはどのようにして外国語に接し学習しているのか、苦労話や感じていることを自由に投稿していただきましょう。

Let's learn foreign language.

《サークルで英語を楽しんでいます》

私は、「英語サークル ingLand」を主宰して、英語を楽しんでいます。6年前に外国人を囲んでお酒を楽しむ「英会話パブ」を始めました。その後、小学生が対象の教室や中学生以上が対象の教室を開講しました。教室では、できる限り外国人に講師をお願いすることで、自分も英語の練習ができています。また、小学生向けの教室で自分が講師を務めることで、英語を上達させなければならないという気持ちを持つことができました。コロナの影響で、現在「英会話パブ」はオンラインで行うしかなく、中学生以上が対象の教室も生徒が減る一方です。難しい状況の中ですが、それも含めて楽しんでいきたいと思います。

実は、初めからサークルを作ろうと思ったわけではありません。今の職場から逃げたかった私は、辞めた後の仕事として、細々と続けていた英語を生かして「英会話カフェ」を経営すること考えました。しかし、結局は、今の仕事を続けながらサークルを運営することになったのです。「英会話カフェ」を居酒屋でやれば「英会話パブ」ということです。こんなサークルですが、多くの方々がお付き合いしていただいていることに感謝します。

来年、定年を迎えます。やりがいをサークルに求めることで、なんとかここまで来ることができました。これまで多くの外国の方々にお世話になったので、定年後は日本語の教師になって、少しでも恩返しをしたいと考えています。 (藤岡誠)

日本語ボランティア レベルアップ講座
《入門期の日本語学習支援について》

2021
3/27
（土）

日本語ボランティア レベルアップ講座は、日本語サロンで日本語学習支援を続けているボランティアのレベルアップ、ステップアップを図るための機会として、毎年開催されていますが、コロナ禍の中で残念ながら延期となっておりました。今回ようやく開催できることとなり、日本語教育支援グループ「ことのは」より、「“きいて まねして はなして”わたしたちが語る２０のエピソード」の執筆者である矢谷久美子さんを講師としてお迎えし、地域日本語教室における日本語学習支援活動についてお話を伺うことができました。

講師　矢谷久美子さん

日本語サロン部会にてこのレベルアップ講座のテーマについて話し合った際に、矢谷さんの講座を以前に受講した方々より、非常によかったという意見があがったこともあり、事務局を通じて今回の講師にお招きしました。日本語サロンの現状としても、日本語学習の初期段階での支援の機会が増え、日本語ボランティア養成講座を修了したボランティアでさえも学習支援の仕方に思い悩むようなケースもあり、今回は学習支援の方法を改めて確認し直す実践的な機会となりました。「ことのは」の活動で作成された教材の紹介だけでなく、日本語学習指導の際の使い方についてもアドバイスをしていただき、入門期の学習者を多く抱えている日本語サロンに現状に合った、非常に有意義な勉強の機会となりました。

日本語サロン部会（福祉サロン）　緒方 理世

《教育サポーターとは？》 その２

教育サポーターという呼称は大阪府教育委員会で認定を受けた者のみに適用されます。日本語と母語を併用しながら、学校生活はもちろん日常生活において直面している様々な課題についてサポートしますが、教育サポーターとはどのような存在であるべきか：

■児童、生徒にとって
- ◇ 自分の文化を共有している人。
- ◇ 自分の主張を理解してくれる人、本音を言える人。

■教員にとって
- ◇ 児童、生徒の言葉を通訳してくれるだけでなく、言葉の背景にある児童、生徒の文化や心を理解し、教員に伝えてくれる人。
- ◇ 児童、生徒と学校の架け橋になってくれる人。

■保護者にとって
- ◇ 中途半端な母語と日本語を文法的に正しく教えてくれる人
- ◇ 保護者と学校の架け橋になってくれる人

■学校がサポーターに求めるもの
- ◇ 学校側と積極的にコミュニケーションをはかること。
- ◇ 問題を一人で抱え込まない（たとえ児童、生徒に「学校には内緒にしてね。」と言われても「話し合うことの大切さ」を教えること）

（教育サポーター 塩屋 裕）

ifa-コラム
EL MUNDO

エル ムンド とはスペイン語で「世界」を意味します。国際化の時代にあわせ世界のカルチャー、ファッション、旅行、ライフスタイル等々がどんどん変わりつつあります。その中で皆さんが日常生活で感じたことを題材にとらわれず、自由に投稿していただくという趣旨のコラムです。

《 コロナ禍を通じて考える「人はなぜ走るのか」》

大きなスポーツイベントが次々と中止に追いやられています。大会を開くからには密はどうしても避けがたいためで、スポーツもまたコロナ禍の影響を正面から受けている分野です。大会は次々と中止、市民レベルのイベントもまた然りです。しかし一方で、GPS技術を利用したオンラインマラソン大会（走る場所は自由、GPS による計測で大会種目参加が可能）が各地で開催され、遠隔でも人々は走る喜びを共有、計測アプリで記録を閲覧しあうなど、世界中でランニングを通じた交流がみられています。コロナ禍受難の中でもなお「走る」ことを求める人がいる。これは一体なぜでしょうか？

生物学的な理由が一番単純。走ると、人間の脳では快楽を感じる「ドーパミン」というホルモンが分泌され、その快楽を求めて、また人は走る、というわけです。ただ、ホルモンなんて目に見えない代物。ホルモン出すために走る、なんて心から思っているランナーの人は少数派かもしれません。走っているときの美しい景色、GPS で計測した走行距離、一緒に走った仲間との会話、目標時間の達成、走り切った後の爽快感、走ることを続けることによる自分の体の変化。走ることは、その時間の中で様々なものを見せてくれます。五感をフル活用し汗を流す中で、心と脳と身体が共鳴しあう感覚です。

かつての哲学者ルソーは「自然に還れ」と説きました。これは人間の内面にある自然に信頼を置く思想で、文化や社会ではなく、人間の内面にこそ本質的なものが眠っている、というもの。人間の感覚を呼び覚ます、走るという行為は、本質的なものを思い出させてくれるものであり、それゆえに走るわけです。そうして思い出した何かを GPS で誰かと共有できるという、現代だからこそ可能となったつながりの形態は、コロナ禍と対峙する中での一つの活路といえるかもしれません。

（虻江詩奈子）

English Open Café

3/13（土） 大南エメリータ さん（フィリピン）

コロナで休みがあった後のEOCにご登場いただいたのは、大南エメリータさんです。フィリピンご出身で9人兄弟の3番目の子どもとして育ちました。家族を助けるため、日本で働こうとの友達の誘いで1986年に来日されました。しばらくはバンドの歌手として活躍され、来日1年半後に結婚、3人の娘さんの母となりました。

子どもさんを日本人として育てるため、ご自身が単に話せるだけでなく、読み書きができるようになろうと日本語を学ぶ決心をされ、新聞やテレビなどを教材に辞書片手に独習されました。ご自身の語学力を試すため、日本語が苦手のフィリピンの人たちのため、役所に提出する書類を英語やタガログ語に翻訳し手助けされました。それが日本語をより深く学ぶ動機となりました。

元々、外交的なエメリータさんは、様々な行事に参加するようになりました。国際チャリティー活動もその一つです。活動を通じ、エメリータさんと同じような活動をしている人に出会い、その人から司法警察通訳者セミナーに参加して勉強するよう薦められました。勉強の結果、入管に関係する通訳の仕事もされ、これらの活動を通じエメリータさんご自身の生きる道を発見した、と話されていました。

大阪や和歌山で公立学校の英語の教員補助(ALT)の仕事も10年以上続けられています。スピーチの後、素敵な歌を披露していただきました。（井上正己）

4/17（土） ギャレス ウィットビー さん（イギリス）

太ネギ、スプーン、水仙、この3つのシンボルでイギリスのどの地域か連想できますか？　そこにレッドドラゴンが追加されると正解率アップでしょうね。そう、Wales（ウェールズ）です。

2019年に日本で開催されたラグビーワールドカップの折りに、本日ゲストのギャレスさんは大張り切りで、福岡へ横浜へと母国の応援に駆けつけました。大阪地域での英語の先生をされながら忙しい日々でもウェールズ愛は消えることはありません。彼のおじいさんの時代、英語がWelsh（ウェールズ語）に取って変わり学校教育が全て英語･･･自分達が話していた言葉が禁止されるとは悲しい歴史です。メイルボイスクワイヤという地域の男性合唱団があり、映像で見るとウェルシュで朗々と歌い上げるその素晴らしい歌声に魅せられます。他にも、HAYという名のブックフェスティバルや、3月1日に開かれるSt. David Dayという祭り、世界一長い名前の駅があるとか、ミレニアムスタジアムは街のど真ん中にあり、ラグビーもサッカーもできる立派なもの、人の暮らしとスポーツが一体化されてる印象です。

文化のみならず、産業革命時には特産の石炭が掘り出され躍進のエンジンとなったこと、1999年には自治権を得てウェールズ独自の議会があること、ただ過去の栄光に更けるだけではない力強さ、自信と尊厳を感じた今日のEOCでした。（田村志津子）

ワールドマスターズゲームズ 2021 KANSAI

「岸和田であなたにも金メダルのチャンスが !!」

ワールドマスターズゲームズ（以下 WMG）は30歳以上のスポーツ愛好家であれば誰でも参加が可能な国際競技大会です。1985 年に第一回がカナダのトロントで開催されて以来オリンピックと同様に 4 年ごとに世界各地で開催されています。競技種目も陸上競技、水泳、サッカーをはじめゲートボールから綱引きまであります。

その WMG がアジアで初めて、日本の関西地区で開催されます。岸和田市では、サイクルピア岸和田 BMX コース（岸和田競輪場の隣）を会場として、自転車競技の一つ BMX が行われます。BMX とは Bicycle Motocross（バイシクルモトクロス）のことで、映画「E.T」で子供たちが乗っていた自転車が BMX です。レースは様々な形状のジャンプ台やコーナーを含むダートコースで争われ、東京オリンピックの種目ともなっています。

そして、サイクルピア岸和田 BMX コースが今回の WMG の会場となります。

参加資格は年齢だけで、スポーツの経験・実績などは関係なく、もちろん予選もありません、参加登録さえすればあなたもスタートラインに立つことができます。

世界中から、BMX の愛好家及びご家族が岸和田を訪れ、競技だけでなく、国際親善の絶好の機会となります。岸和田市には、岸和田城、だんじりをはじめ杉江能楽堂など、海外の方に紹介したい日本文化が沢山あります。

大会は2022年の5月20日～22日を予定しています。

まだ BMX に乗ったことがない方も、今からでも間に合います。（内田滿弥）

やさしい

日本語

第６回

新型コロナ　ワクチン接種（無料）の おしらせ（岸和田市）

集団接種の場所

・保健センター（別所町３丁目２−１）

・メディカルセンター（荒木町１丁目１−５１）

・山直市民センター（三田町７１５−１）

＊病気の時　いつも　行く　近くの　医院で　接種できる　ところが　あります。　お医者さんに　聞いてください。

手続き：

1. 岸和田市から　手紙が　来ます。　中に　案内文　クーポン券　予診票が　入っています。

2. インターネットで　ワクチンを　打つ　日と　時間を　予約します。　ワクチンは　２回　打ちます。　１回目を　予約するときに　２回目も　いっしょに　予約します。

岸和田市のホームページ　LINEで　岸和田市を　友だち登録

どちらでも　予約できます。

3. 予診票に　必要な　ことを　書いてください。

4　予約した日、クーポン券、予診票、本人確認書類（運転免許証、健康保険証、マイナンバーカードなど　どれか　一つを　持って　行きます。

＊厚生労働省の　ホームページで　外国語で　予診票を　みることが　できます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_tagengo.html

＊相談したい　ときは・・・

新型コロナ　ワクチン接種　コールセンター

TEL：0570-077-664　（電話代が　必要です）

日本語だけ　午前９時　から　午後５時半　まで

地球家族

《Down under》

「自分が世界の中心でありたい。」 人間の究極の欲望かもしれません。以前海外で買った世界地図はヨーロッパが真ん中、日本はまさに極東、端っこの方に描かれていました。でもこれは序の口、オーストラリアの地図にはもっと驚かされます。

「誰が北半球が偉いと決めたんだ?」とのオージー (Aussie) の強烈なメッセージが伝わってくる地図です。地図の名前は Down under map of the world もちろんオーストラリア大陸が地図の中心、日本は逆さまになってオーストラリアの下の方にあります。当然地図の上が南、下が北、右が西、左が東になっています。

初めてオーストラリアで車を運転した時、まだナビがなかったので、地図を頼りに運転していましたが、北半球に住む者の性で昼間太陽がある方向が南と思い込み、太陽に向かっているので、南に進んでいると思い込んでいたら、それは北に向かっていたのでした。

太陽は東から昇り、北を通って、西に沈みます。北半球と南半球の違いで誰もが知っている事は、季節が逆ということです。クリスマス休暇の旅行で、関西空港に冬物のコートを預け、Ｔシャツだけ持ってオーストラリアへ、そこには半ズボンのサンタクロースがお迎えという経験をされた方もおられるでしょう。所変われば品変わる、北半球と南半球では品の変わり方が地球規模です。

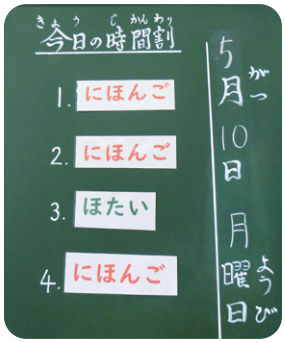
タイトルの Down under はオーストラリアのことです。オーストラリアはイギリスからみたら地球の下の方、反対側にあります。特にネガティブな意味もなくオーストラリア人は使っています。

もし、オーストラリアで部屋探しをされるなら、日当たりのよい北向きの部屋をお勧めします。　（内田満弥）

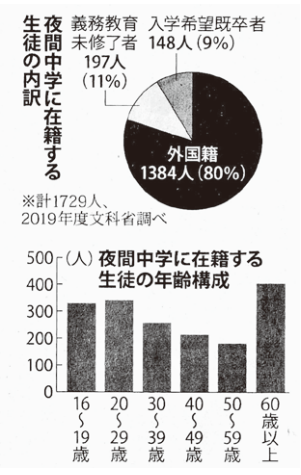
特集

岸城中学校夜間学級に通う外国人

沈む夕日が教室の窓から差し込む午後 5 時過ぎ、岸和田市立岸城中学校夜間学級のホームルームが始まる。先生が「1 時間目と、2 時間目は日本語、3 時間目は体育館で体育、4 時間目はもう一度日本語です。さあ、今夜も一歩ずつ！」



夜間学級は、戦後の混乱期の中で義務教育を修了できなかった人たちが「あいうえお」を高齢になってから学び直しているイメージがあるが、岸城中学夜間学級は全生徒数 41 人の内、日本人 4 人、残り 37 人は外国籍。日本に住みレストランや工場で働き、昼間の仕事を終えてから登校。取材した日も、1 時間目の登校者はまだ少なく、先生一人に生徒一人のクラスも。先生の作ったプリントのテキストを大きな声で読み、慣れないひらがな、カタカナ、漢字を一生懸命学ぶ。



生徒の出身地は、フィリピン 8 人、中国 7 人、今春からシリアから 4 人が入学、他に韓国、インド、ネパール、ペルー、ヨルダンなど現在は 16 ヵ国に及ぶ。先生達は教員免許を持った公立中学校の教員 12 名を含む15名。休み時間に、インド男性とネパール女性が、お茶を飲みながら、突然ヒンズー語で会話を始める。

3時間目は体育、生徒も先生も全員が体育館に集合。日本の童謡「背くらべ」、「線路は続くよどこまでも」などを BGM に体育館を 5 周。次は「ラジオ体操」。彼らには初めての新鮮な経験。

4時間目、生徒数も増え、それぞれの日本語のレベルにあわせ教室も 6 クラスに。今春入学したシリアの男性はまだひらがなが読めない。先生がマンツーマンでひらがなから指導。お国、年齢、家庭環境、日本語の習熟度も異なる生徒をきめ細かく指導している先生方に頭が下がると同時に、異国の地日本でコロナ禍の中、慣れない日本語の生活。昼間は働き、月曜から金曜まで週 5 日夜間学級に通っている人達のひたむきさに心を打たれる。

先生がインドの男性に、「お国のご家族にはちゃんと電話してる？コロナが大変だけどみんな大丈夫？」と声をかけ、彼が「大丈夫」と答えた時、教室の皆が「よかった」と安堵の顔になった。

校区いや国境を越えた素晴らしい教室を見た。（内田満弥）

夜間学級の灯りがともる岸城中学校校舎

Information

■English Open Café

各国からのゲストをお招きし、英語でプレゼンテーションをしていただき交流を図ります。

【と　き】9月以外の第３土曜日
　　１３：３０～１５：３０
【ところ】マドカホール　3F 視聴覚室
　　＊事務局にお申込みください。
　　（先着 20 名まで受付します）

■メーリングリスト（ML）登録

事務局に届いた研修やおしらせ、また緊急事態宣言等で急遽の事業中止のおしらせなどを ML で発信しています。
まだ未登録のご希望の会員の方は、ML を受け取るメールアドレスから事務局宛（kokusai@sensyu.ne.jp）にお名前と ML 希望の旨のメールをお願いします。

にゅーとぴあ岸和田 No.128
お問い合わせや感想などは事務局まで
編集担当 虻江詩奈子・内田満弥・大塚 洋・塩屋 裕・西村紀子・三森すみ代
TEL&FAX (072)457-9694
https://ifa-kishiwada.rinku.org/ メール kokusai@sensyu.ne.jp

岸和田市国際親善協会 2021年7月15日発行 事務局 〒596-0004 岸和田市荒木町1丁目17番1号 マドカホール内 TEL072-457-9694 E-mail：kokusai@sensyu.ne.jp URL：http://ifa-kishiwada.rinku.org